

この図表は株式会社ヘルシーネットワークの『はつらつ食品』カタログに掲載されています。ぜひカタログもご活用ください！



学会分類2013

0j、1j
物性に配慮した離水の少ないもの



0j
嚥下訓練食品 0j

たんぱく質含有量が少ないゼリー



1j
嚥下調整食 1j

たんぱく質含有量は問わないプリン・ゼリー・ムースなど

0t
嚥下訓練食品 0t

jゼリー：jelly
tとろみ：thickness



学会分類 2013(とろみ)の中間～濃いとろみ
たんぱく質含有量が少ないこと

2-1
嚥下調整食 2-1



均質でなめらかなもの(あまりさらさらしすぎないこと)

2-1
2-2

べたつかずまとまりやすいミキサー食、ペースト食など

2-2
嚥下調整食 2-2



やわらかい粒等を含む不均質なもの

3
嚥下調整食 3



形はあるが、歯や入れ歯がなくとも口腔内で押しつぶし、食塊形成が容易なもの

4
嚥下調整食 4



形があり、かたすぎず、ばらけにくく、貼りつきにくいもの。箸で切れるやわらかさ

他分類

学会分類2013	嚥下食ピラミッド	特別用途食品	UDF	スマイルケア食
0j	L0 (開始食)	許可基準 I	—	ゼリー状 0
0t	L3の一部 (とろみ水)	—	—	ゼリー状 0
1j	L1・L2 (嚥下食Ⅰ・Ⅱ)	許可基準 II	区分4 かまなくてよい	ムース状 1
2-1	L3 (嚥下食Ⅲ)	許可基準 II 許可基準 III	区分4 かまなくてよい	ペースト状 2
2-2	L3 (嚥下食Ⅲ)	許可基準 II 許可基準 III	区分4 かまなくてよい	かまなくてよい 2
3	L4 (移行食)	—	区分3 舌でつぶせる	舌でつぶせる 3
4	L4 (移行食)	—	区分2 歯ぐきでつぶせる	歯ぐきでつぶせる 4
			区分1 容易にかめる(一部)	—

形態、特色などの詳細は「嚥下調整食分類2013」の本文及び学会分類2013(食事)早見表をご確認ください。

※他分類の対応に関して：嚥下食ピラミッド、えん下困難者用食品許可基準、UDF区分は「学会分類2013(食事)早見表」を、スマイルケア食は「スマイルケア食の選び方」を参考に当社が作成したものです。

※学会分類2013に対応する内容のみ記載しておりますので、嚥下食ピラミッド「L5普通食」、スマイルケア食「B容易にかめる」、「青マーク」の記載は割愛しております。

※学会分類2013に対応していない場合は「-」を記載しています。